

表 7.2 サンゴ類の分布状況調査結果

調査期日：平成29年8月20～25日

調査位置 (周辺被度:%)		主な出現種	生存被度(%)		死亡 (%)	白化 (%)	備考
区域 I	St. a (10～30)	ユビエダハマサンゴ	20	30	0	0	特になし。
		ハマサンゴ属 (塊状)	10				
		ミドリイシ属	<1				
	St. b (10～30)	ユビエダハマサンゴ	10	20	0	0	特になし。
		ハマサンゴ属 (塊状)	<5				
		ヒメマツミドリイシ	<5				
	St. i (<10)	ミドリイシ属 (稚サンゴ)	<1	<5	0	0	ミドリイシ属の稚サンゴが局所的に5群体/m ² 以上の密度で分布。20cm以上に成長個体あり。
		ハマサンゴ属 (塊状)	<1				
	St. l (10～30)	ユビエダハマサンゴ	15	20	<1	<1	アナサンゴ属の小型群体の一部に白化あり。
		アオサンゴ	<5				
		ハマサンゴ属 (塊状)	<5				
	区域 II	St. c (<10)	ハマサンゴ属 (塊状)	<1	<5	0	0
シナキクメイシ			<1				
St. d (<10)		コモンサンゴ属 (葉状)	<1	<5	<1	0	特になし。
		ハマサンゴ属 (塊状)	<1				
		ニオウミドリイシ	<1				
		ユビエダハマサンゴ	<1				
St. e (30～50)		コモンサンゴ属 (樹枝状)	30	35	<5	0	一部において礫に埋没したコモンサンゴ属あり。
		ハマサンゴ属 (樹枝状)	<5				
		ハマサンゴ属 (塊状)	<5				
		コモンサンゴ属 (葉状)	<1				
St. k (10～30)		ハマサンゴ属 (塊状)	5	20	0	0	特になし。
		シコロサンゴ属	<5				
	ユビエダハマサンゴ	<5					
	ノウサンゴ属 (塊状)	<5					
区域 III	St. f (<10)	ハマサンゴ属 (塊状)	<5	5	0	<1	ハマサンゴ属 (塊状) の一部に白化あり。
		コカメノコキクメイシ属	<1				
	St. g (10～30)	ハマサンゴ属 (塊状)	10	20	<1	<1	コモンサンゴ属 (樹枝状) の一部に白化あり。
		ヒメマツミドリイシ	10				
		ユビエダハマサンゴ	<5				
	St. h (10～30)	ユビエダハマサンゴ	10	20	<1	<1	小型のハナヤサイサンゴやミドリイシ属の一部に白化あり。
		アオサンゴ	10				
	St. j (<10)	ハマサンゴ属 (塊状)	<5	<5	<1	0	特になし。
		シコロサンゴ属	<1				

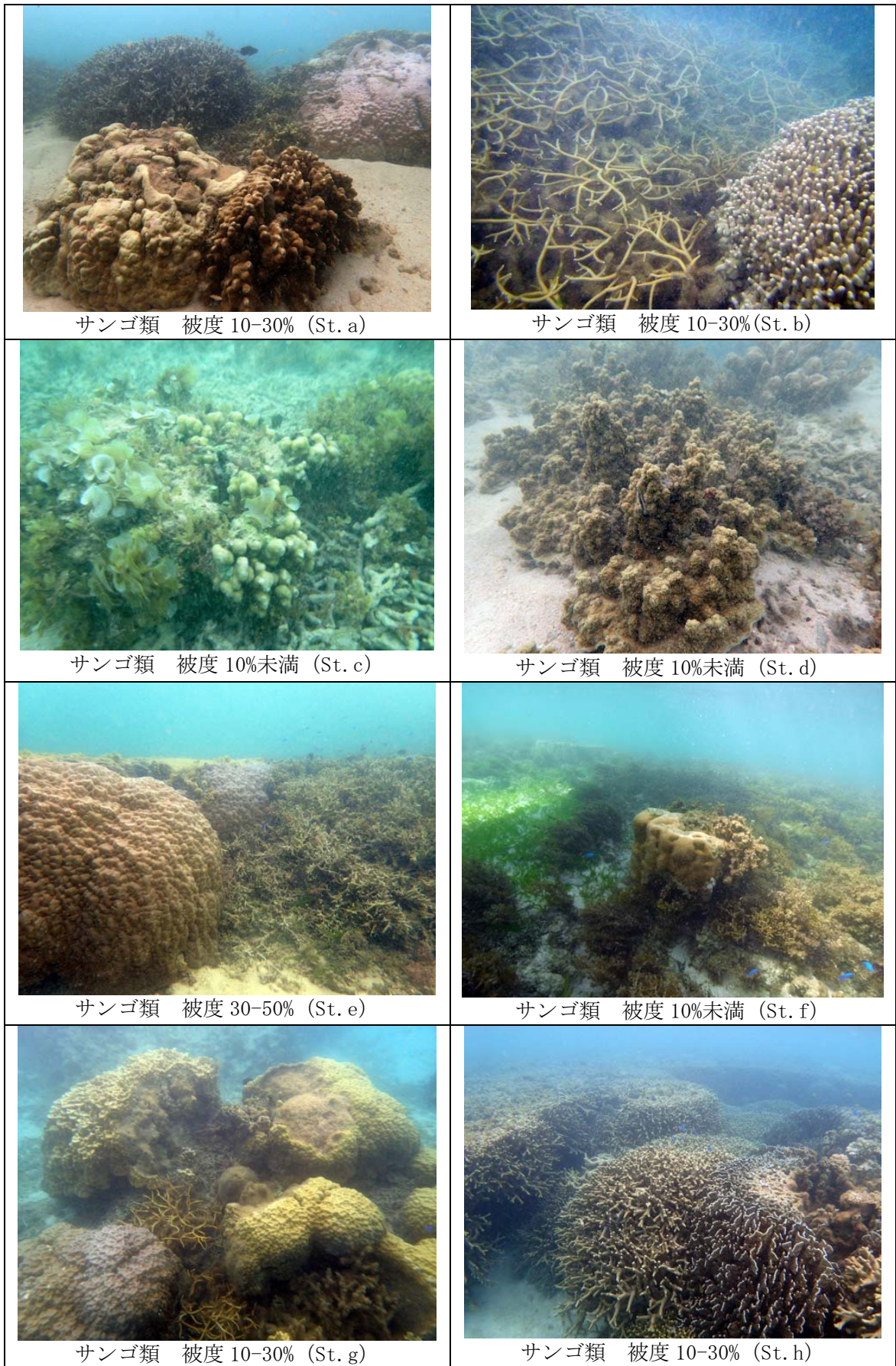


図 7.5(1) サンゴ類の生息状況

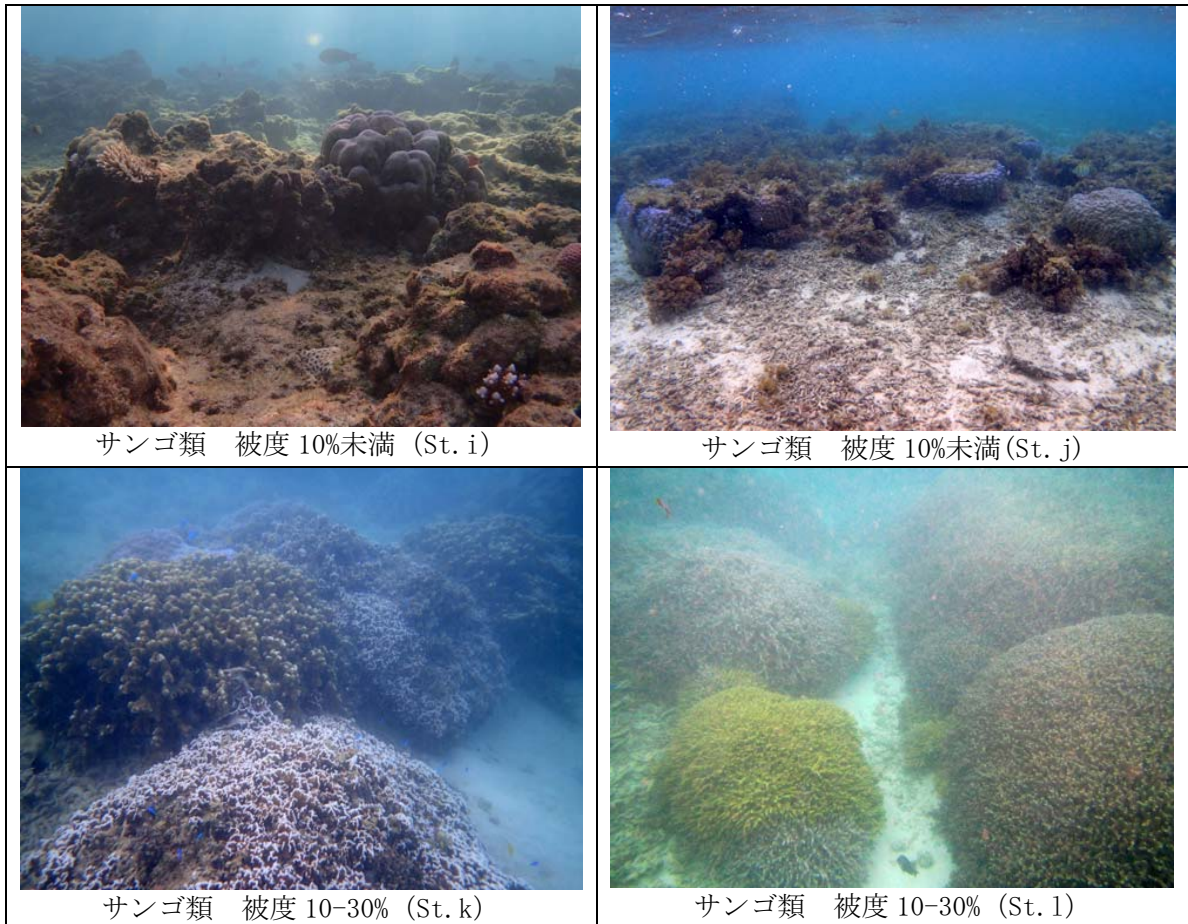


図 7.5(2) サンゴ類の生息状況

【藻場分布】

平成 18～29 年度の藻場の分布状況及び調査結果は、図 7.6、表 7.3 に示すとおりである。

本年度調査の藻場の分布面積は 273ha であり、このうち海草藻場が 147ha (53%)、ホンダワラ藻場が 108ha (40%)、混生域が 18ha (7%) であった。

海草藻場は海岸沿いに広く分布し、ベニアマモ、リュウキュウアマモ、ボウバアマモ、ウミジグサ、ウミヒルモ、リュウキュウスガモで構成されていた。分布面積が最も多かったのは被度 10～30%区域で 79ha、次いで被度 30～50%区域が 68ha であり、50%以上区域はみられなかった。海藻草場の被度は調査海域北側の St. C 周辺域で被度 30～50%と高く、調査海域北側の St. A と南側の St. E, F, H 周辺域では被度 10～30%であった。

ホンダワラ藻場は礁池内沖側の岩盤において、ヤバネモク、タマキレバモク、ホンダワラ属を構成種として分布していた。分布面積が最も多かったのは被度 10～30%区域で 102ha、次いで被度 30～50%区域の 6ha であり、50%以上区域はみられなかった。調査海域北側の St. B, D 周辺域において 30～50%で分布しており、それ以外では被度 10～30%であった。また、年によって顕著な変動が確認されている南側海域の St. I, J 周辺では、平成 24～27 年度調査と同様に、本年度調査においても被度 10～30%での分布が確認された。

混生域は、海草藻場とホンダワラ藻場の中間にあたる場所に分布していた。被度 10～30%区域のみがみられ、分布面積は 18ha であった。

表 7.3 藻場分布状況調査結果

調査期日：平成29年8月20～25日

項目	調査地点 (周辺被度:%)	St. A	St. B	St. C	St. D	St. E	St. F	St. G	St. H	St. I	St. J	
		(10～30)	(30～50)	(30～50)	(30～50)	(10～30)	(10～30)	(10～30)	(10～30)	(10～30)	(10～30)	
藻場の区分		海草	ホンダワラ	海草	ホンダワラ	海草	海草	ホンダワラ	海草	ホンダワラ	ホンダワラ	
主な構成種	ホンダワラ藻場 構成種	ヤバネモク		+		+		+	10		+	+
		タマキレバモク		+		+			5		+	+
		ラッパモク						+	+		+	+
		ホンダワラ属		50		50		+	15		20	20
	海草藻場 構成種	ベニアマモ	5		10		+	5		5		
		リュウキュウアマモ	+		20		5	5		10		
		ボウバアマモ			+			+		+		
		ウミジグサ	+		+		+					
		ウミヒルモ	+				+	+		+		
		リュウキュウスガモ	5		5		5	5		10		
		15	50	40	50	15	20	30	25	20	25	

- 注) 1. +は被度5%未満を示す。
 2. 被度は5%単位で示す。
 3. 10分間の潜水目視観察による。

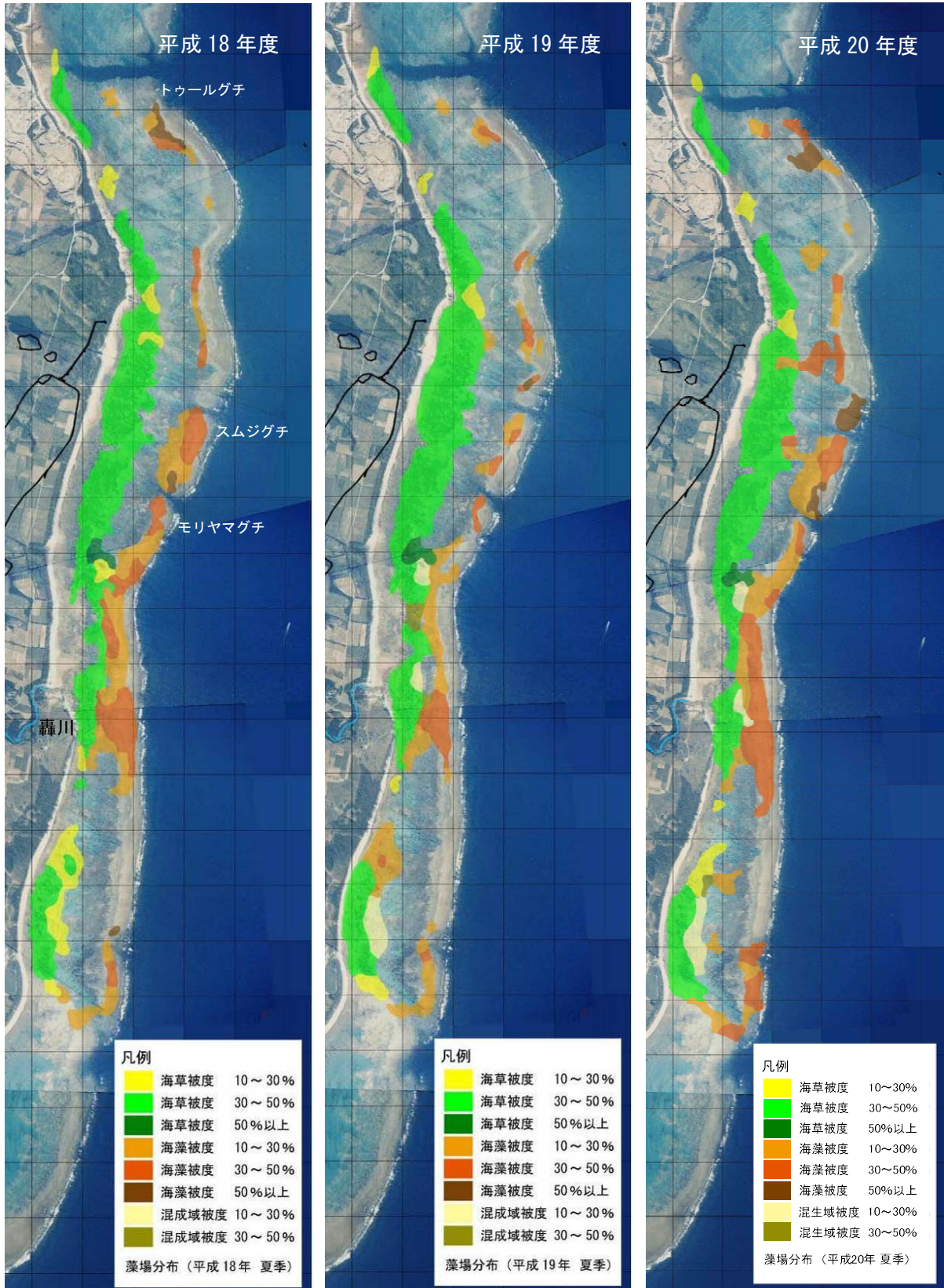


図 7.6(1) 藻場の調査位置及び分布状況 (平成 18 年～平成 20 年)